

平成30年度
事業実績報告書

申請者の概要

申 請 者	団体名	富田林商工会		
	代表者職・氏名	会長 金谷 一彦		
	所在地	〒584-0012 富田林市粟ヶ池町2969-5		
	担 当 者	職・氏名	事務局長 松井 勝	
		連 絡 先	電話番号（直通）：	0721-25-1101
F a x：			0721-25-9009	
E - m a i l：	info@tonshow.or.jp			
①設立年月日		昭和37年7月22日		
②職員数 (うち経営指導員数)		10名(10名)		
③所管地域		富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村		
④管内事業所数		4,625		
⑤管内小規模事業者数		3,253		
⑥会員数(組織率)		2,187 (47.3%)		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと				
□主な事業概要(定款記載事項等)				
<ul style="list-style-type: none"> (1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること (3) 商工業に関する調査研究を行うこと (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること (5) 展示会、商談会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること (7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること (8) 行政庁等の諮問に応じて、答申すること (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと 				

富田林商工会

(1) 事業の目標

小規模事業者の取り巻く経営環境は、顧客の減少、経営者の高齢化、販売促進策等様々問題を抱えている。このような課題に対して、現場の生の声を聞きながら実態を把握し対応策を講じ、経営支援の強化を図ることを目標とした。高度化・専門的支援が必要な課題については、国や府の支援機関とも連携を図り、経営力の向上と体質強化に繋がることを目標においた。また平成30年度は事業継承支援や消費税増税に向けた支援も目標に入れた。地域活性化事業については、単独の新規事業としてとんぼろ事業、まちゼミ事業、技術力向上課題解決支援事業、女性活躍推進事業を実施。広域事業は従来から需要が多かった若者キャリア形成事業、ITツール活用支援事業、創業促進事業を広域連携として実施し地域再生の意識を高め人材確保・育成支援等を充実させることを目標とした。なお、何れの事業も各種関係団体と連携を図りながら事業の推進を行い、小規模事業者の経営改善と体質改善また雇用の拡大、安定化に繋げることを目標に各種事業を実施。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業については、経営指導員による窓口、巡回指導の強化。またSNS等を活用した情報交換の中で、小規模事業者が抱える課題を見つけ出し、解決に向けた支援を実施した。事業承継、IT、IoT等については、知識が乏しく、より専門的支援が必要な課題については、ミラサボやよろず支援拠点等に繋ぎ、解決に向けた支援を積極的に実施した。また地域活性化事業については、小規模事業者の販路拡大策、労務管理対策、ものづくり企業の技術力向上のためのセミナー等実施。また地域振興や商工業の貢献につながるまちゼミや地域ブランド商品、特産品等（地域観光資源）の情報発信も実施した。地域活性化事業を実施したことにより企業の業務の効率化を図ることができ経営相談事業との相乗効果を上げることができた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

小規模事業者が抱える様々な課題を窓口、巡回指導を通じて実態を把握し、課題解決に向けた支援をミラサボやよろず支援拠点のコーディネーター、また税理士会等の関係機関と連携して支援を実施した。結果、事業者が販路開拓・拡大を図ることができ経営革新や企業の体質改善を図ることができた。地域活性化事業については今回新規事業としてまちゼミ事業を実施。大型店舗では出来ない個人商店ならではの魅力を発信し、消費者への認知度を上げ、新規顧客の獲得、販路拡大に繋げることが出来た。若者キャリア形成事業や求人求職マッチング事業等を実施することで企業の就職支援を図ることができ雇用の確保が可能となる。また地域特産品のブランド情報発信することにより市内観光事業の活性化が図れ地域振興や発展に貢献できた。各地域活性化事業を広域の商工会、会議所また関係機関とも連携して実施したことにより事業効果と地域の活性化をより以上に図ることができた。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

昨今の社会情勢の急激な変化で小規模事業者の抱える課題が高度化、複雑化している。ニーズに応えるためには分野ごとの専門家や関係機関等の支援が必要になってきている。卸・小売業・飲食業においては依然として厳しい経営環境の中、顧客の減少、取引先の廃業等で販路開拓・拡大を含め切迫した状況が続いている。また製造業至っては人手不足が深刻な課題となってきており、特に若年者の人手不足が問題となっている。課題ニーズに応えるために様々な手段を講じて、強固な経営体質を作り上げていくための支援が益々重要となってきている。管内の小規模事業者においては、事業主の高齢化による後継者問題（事業承継）の相談も多くなってきている。事業者が廃業し減少することは管内地域が衰退することにもなり、今後事業承継支援が急務となってきている。

(5) 来年度への取り組み

管内小規模事業者は、売上の減少、経営者の高齢化による事業承継、資金調達、働き方改革など様々な問題を抱えている。それらの経営課題については、経営指導員が引き続き対応し、より専門的かつ高度化な相談は関係支援機関、各種専門家等と連携を図りながらきめ細かく実施し、小規模事業者の安定化、効率化に繋げて行く。また経営指導員のスキルアップを図るため指導員研修にも積極的に参加し、幅広い事業者の相談ニーズに対応できる知識を習得する。地域活性化事業については府及び市町村、関係機関団体とも連携を取りながら事業を実施し、管内地域の独自性や主体性を生かしながら地域の活性化を図ることとする。特に来年度は、事業承継セミナー、雇用対策セミナー（働き方改革等）、地域ブランド商品の発掘と情報発信を含めて地域の活性化と事業者の経営体質の強化に向けた支援を実施していきたい。

富田林商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

本年度は支援テーマとしていた「事業承継支援」において昨年度末より承継課題のある事業所接点時に啓発活動を行っていた事から年度当初から独自のチェックシートを用いた支援体制を構築し重点的な支援を行った。また、大阪北部地震や台風の影響による建物被害は勿論、建更保険では賄えない商品被害も相談が多く、経営改善貸付が増加し、資金繰り改善に努めた。販促支援は災害対策などの直前支援が重点され、予算数よりも減少したものの当会が力を入れている展示会や交流会活用、SNS強化などの支援を継続した事業所が創業後数年において売上が急増し3年前に数百万円の事業所が数千万円を超える事業所も数件あるなど、事業発展に成功している。

(成功事例)

当事業所はルームクリーニング業であり、創業より3年目であるが、初年度より創業から支援し、平成29年度に展示会やチラシ、SNS手法など積極的な戦略手法を提供し、実際に平成30年度を中心に知識や技術活用を行い、個人事業所であるにも関わらず、ホテルの受託など、大手受注を受託出来たことで、本年度はその収支成果をある程度自動確認できるエクセルの関数を活かした収支ツールの開発と導入や準備資金の調達について支援したことで、平成29年度売上が200万円程度であったものが、平成30年度2000万円※別会社設立含む。平成31年4月には一層の受託など売上増加が著しい事から代表事例として発表する。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	320	329	102.8%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	36	36	100.0%	4
金融支援（紹介型）	支援数	1	1	100.0%	3
金融支援（経営指導型）	支援数	83	97	116.9%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		
記帳支援	事業所	20	20	100.0%	5
労務支援	支援数	41	41	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	3	3	100.0%	3
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		
販路開拓支援	支援数	87	87	100.0%	5
事業計画作成支援	支援数	5	5	100.0%	4
創業支援	事業所	0	0		
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	4	4	100.0%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	20	20	100.0%	4
財務分析支援	事業所	2	2	100.0%	3
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	26	26	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	90	90	100.0%	5
結果報告	事業所	320	329	102.8%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門相談は支援重点にしている販促関連支援による成長から法人化や各許認可による一層の成長課題についての要望が多く、年度初めから相談が殺到し、診断士、司法書士などを中心にミラサボ登録の実績者を専門相談としても活用し、一層の販路拡大への支援を行った。一方税務相談においては、2件と枠が少なく、当会の決算指導後の課題に重点を置いた指導に努めた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	2	2	100.0%	5
経営相談	継続	相談件数	28	28	100.0%	5

富田林商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地域の独自性、主体性を活かしながら、地域産業の活性化を図る目的で、戦略性、実効性及び持続性のある事業を実施しました。今回、地域内外からの新規顧客の開拓、販路の拡大に繋がるまちバル・まちゼミ事業を新規事業として、地域ブランド事業については、引き続き認定商品等を幅広くPRすることにより新たな販路開拓に繋がり、地域の観光事業等に貢献できた。また、創業を考えておられる方には企業家育成を促進するセミナーを開催。創業にあたってのノウハウを習得、将来に向けてのネットワークの構築など企業家育成を促進する効果があった。ITツール活用支援事業、クラウドファンディング促進事業は多角的に事業を展開する上で現在では必要不可欠となっている。各種セミナー等の事業を広域で実施した結果、地域活性化事業と経営相談支援事業との相乗効果を図ることができた。雇用を含む労務管理関係の事業については、働き方改革による様々な労働問題など、企業として改めて労働環境改善に向けた取り組み方を習得して頂いた。大阪勧業展、物産展、ビジネスフェア等の展示商談会やCB/SB支援事業を実施し、事業者が参加した結果、幅広く取引先を獲得することができ販路開拓、拡大に繋げることができた。今年度は単独事業そして各地域と広域で実施した地域活性化事業は、何れの事業共に多岐に亘った幅広い事業を実施した結果、小規模事業者（支援事業所）の成長改善等に貢献することができた。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	地域ブランド 開拓情報発信事業	28	27	96.4%	100	自社製品の販路拡大が出来たと回答した割合	70	74	105.7%	5
	〃	14	14	100.0%	89	自社製品の販路拡大が出来たと回答した割合	70	64	91.4%	5
	〃	20	20	100.0%	94	自社製品の販路拡大が出来たと回答した割合	70	95	135.7%	5
	とんだばやしバル事業	45	52	115.6%	67	事業を実施した事により販路の拡大、新顧客の獲得に繋がったと回答した割合	70	63	90.0%	5
	まちゼミ in とんだばやし事業	20	16	80.0%	70	事業を実施した事により販路の拡大、新顧客の獲得に繋がったと回答した割合	70	88	125.7%	5
○	技術力向上支援事業	20	14	70.0%	88	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合	70	64	91.4%	5
○	〃	20	2	10.0%	100	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合	70	100	142.9%	5
○	〃	15	8	53.3%	94	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合	70	75	107.1%	5
○	雇用管理労務対策セミナー	30	40	133.3%	95	アンケートによる満足度	80	95	118.8%	5
○	女性活躍推進事業	20	15	75.0%	89	女性が働きやすい環境整備に取組む意識が向上した割合	80	100	125.0%	5

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	地域若者キャリア形成支援事業	7	6	85.7%	90	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合	80	100	125.0%	5
	ITツール活用支援事業	25	25	100.0%	88	IT活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70	72	102.9%	5
	〃	25	31	124.0%	86	IT活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70	68	97.1%	5
	〃	25	32	128.0%	87	IT活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70	62	88.6%	5
	〃	35	35	100.0%	91	IT活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70	71	101.4%	5
	農商工連携事業	55	41	74.5%	81	事業者間連携が出来た企業割合	60	80	133.3%	5
	〃	24	25	104.2%	91	PRしたことによる新規顧客の開拓、販路拡大が出来た割合	60	100	166.7%	5
○	製品商品サービス魅力強化発信事業	18	17	94.4%	86	コンテンツマーケティングの意識が向上した企業割合	80	82	102.5%	5
○	〃	3	3	100.0%	93	コンテンツマーケティングの意識が向上した企業割合	80	100	125.0%	5
○	創業促進事業	12	13	108.3%	98	創業意識が向上した事業所数	70	77	110.0%	5
○	〃	12	8	66.7%	96	創業意識が向上した事業所数	70	100	142.9%	5
○	〃	12	25	208.3%	86	創業意識が向上した事業所数	70	80	114.3%	5
○	〃	12	13	108.3%	93	創業意識が向上した事業所数	70	92	131.4%	5
○	〃	12	11	91.7%	94	創業意識が向上した事業所数	70	73	104.3%	5
○	〃	4	4	100.0%	100	創業意識が向上した事業所数	70	100	142.9%	5
○	中小企業IT/IOI導入支援事業	20	17	85.0%	91	IoTに対して知識が向上した企業割合	80	88	110.0%	5
○	〃	3	2	66.7%	90	IoTに対して知識が向上した企業割合	80	100	125.0%	5
○	クラウドファンディング促進事業	30	15	50.0%	81	クラウドファンディングに対して活用を検討した企業割合	60	73	121.7%	5
○	知財活動支援事業	25	18	72.0%	83	知財活用についての取組みを推進する事業所数の割合	70	83	118.6%	5
○	〃	5	5	100.0%	80	知財活用についての取組みを推進する事業所数の割合	70	80	114.3%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

富田林商工会

事業名		地域ブランド開拓、情報発信事業														
想定する実施期間		H22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品(製品)が多々ある。そのような商品(製品)をブランド商品として認定、PRすることにより販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、特産品をブランド化し情報発信することにより、地域の観光事業の活性化が図れ、地域振興や商工業発展に貢献することができる。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	商工会管内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○市広報やHP等でブランド認定事業者を募集し、年1回富田林ブランド認定審査会を実施、認定商品を選定する。認定商品に選ばれたブランド商品については事業者へ認定証、ブランド認定ロゴシールを発行する。また、大阪府内外でのイベント等PR可能な場所へはブランド認定委員会として出店しブランド商品の積極的な告知活動を実施する。また、認定委員会HPで消費者が直接購入できるような仕組みを作り上げたことによる新たな販路の開拓。市町村と広域連携しながら南河内ブランド商品のPRの実施。現在の認定商品 ①楽豆シリーズ、②寺内町せんべい、③寺内町あてまげの辻、④富茶粥、⑤富ぼうし、⑥生活改善クラブ特産品シリーズ、⑦河内ボン酢、⑧はちみつ、⑨ローヤルゼリー、⑩超楽ベルト、⑪クリームパン、⑫さしみ卵、⑬傘、⑭赤ねこ餅、⑮大阪なすのみそ⑯ぼん大福、⑰牛肉の大和煮団詰、⑱与三郎みそ、⑲クリスタルストーンサンド、⑳たこせんべい、㉑自然農法米 嬉さん、㉒いちごのコンフューレ㉓野菜の内緒話㉔古布をイメージした和柄のがまろケース㉕竹のインテリア製品㉖なすケーキ㉗いっちゃんバーム㉘イサーSSエコスピーカー㉙オリジナルデザイン缶バッジハンドミラー㉚オリジナルテキスタイルデザインカードケース㉛露子に愛をこめて (27社31商品)</p> <p>○南河内ブランド商品としてイベント等でのPR活動を行う。(太子町、河南町、千早赤阪村で14商品)</p> <p>○販売会の実施 ①富田林スポーツ公園 ②イオン金剛東店 ③狭山池イベント ④⑤観光交流施設きらめきファクトリー</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画、認定事業への補助金交付。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>							①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画、認定事業への補助金交付。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。	④相談相乗	
	①府施策連携															
②広域連携																
③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画、認定事業への補助金交付。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。															
④相談相乗																
①計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	28	支援企業数(実績)	27	支援実績率	96.4%	満足度	100								
②計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	14	支援企業数(実績)	14	支援実績率	100.0%	満足度	87								
③計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	20	支援実績率	100.0%	満足度	94								
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①新規の認定事業者は、3社増えておりブランド認定の認知度が上がっていると考えます。 ②南河内の特産品として商品の認知度も高く、満足度も87%と事業評価を得ている。 ③地域内でのイベント事業も販路拡大の効果が大きく、売上の増加につながっている。 支援企業数、実績、満足度も高く、事業の認知度も上がっており、事業の効果は高まっていると感じています。															
	①指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合														
	数値目標	70%	実績数値	74%	目標達成度	105.7%										
	②指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合														
	数値目標	70%	実績数値	64%	目標達成度	91.4%										
③指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合															
数値目標	70%	実績数値	95%	目標達成度	135.7%											
成果の代表事例	新たに開発した商品を富田林ブランドとして認定、アンテナショップで販売したことで消費者の目に留まり、認知度が上がったことで、売上の増加、新規顧客の獲得に繋がった。															
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	平成22年度から約10年事業を継続して認知度が上がり、商品の魅力を伝える事には成果が出ていると感じている。また、南河内全体で連携することでより商品の価値を高めることができた。今年度、地域事業者が連携して新たなブランド商品の開発を商工会を中心として取り組んでおり次年度は、試作品の開発、検証、製造までを事業として取り組んでいきたいと考えている。また、今後の方向性も考えていきたい。														

富田林商工会

事業名		とんだばやしバル事業																						
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内の多くは、過疎などの人口減少問題や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものが多く存在し、地域社会、地域のコミュニティの維持すら困難な状況である。そこで、地域社会を維持発展させるためには地域での効果的な経済活動が必要である。地域の課題はニーズであり、そのニーズに対応するべく地域の課題を見直すことや視点を変えることがこれからは特に重要である。そこで、地域外から資金が流入する仕組みを作り、その資金を地域内で循環、それを動かす人材を育成することで地域に新しいビジネスや事業、事業者を創造、創出することを目的に、地域外からの消費者を呼び込むことで新規顧客の開拓、販路の拡大を目指す。また、事業者間でのネットワークづくりにもつなげることができ、地域力強化を目指す。																						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。																						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催日：平成30年7月13日（金）から15日（日）あとバル7月16日（月）から22日（日） 開催場所：富田林市内 開催内容：「とんバル」チケットを販売し、参加者は参加店舗が掲載されているバルマップを見ながらまち歩き、買い物、食べ歩き、飲み歩きなど富田林市内を散策してもらう。 参加店舗：市内の飲食、小売、サービス業等 ※実行委員会形式を取り、その中で富田林商工会は事業の企画立案、事業者の募集、マップ等の印刷物の製作、販促活動の支援等を実施する役目を担う。 参加企業数：52社</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</td> </tr> </table>						①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。									
	①府施策連携																							
	②広域連携																							
③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。																							
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。																							
①計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	45	支援企業数(実績)	52	支援実績率	115.6%	満足度	67																
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>予定企業数を上回る事業所の参加があった。（7店舗増）富田林バルの特徴として飲食以外の店舗（小売店、ワークショップなど）が参加できることも増加になった一因であると考えられる。新規顧客の獲得に繋がった店舗もあり、新たな販路の開拓に繋げることができた。バル=新規顧客の獲得という意識は持ってもらえたと感じる。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>63%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">90.0%</td> </tr> </table>								指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合							数値目標	70%	実績数値	63%	目標達成度	90.0%		
指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合																							
数値目標	70%	実績数値	63%	目標達成度	90.0%																			
成果の代表事例	<p>日常の来店客はほぼ常連で成り立っている店舗が、バルに参加したことで遠保からの来店客があり、また、バル終了後も店舗に来店があった。新規顧客として獲得することができた。</p>																							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																			
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p> <p>参加店舗の募集方法が、市発行の広報、チラシ配布など限定されており、地域の店舗全域に周知できているとはいいがたい。参加店舗の増加が事業実施に不可欠である為、次年度検討していきたい。また、富田林市全域で事業を実施していくとエリアが広範囲にわたってしまい、バル本来の意味が薄れてしまうところがある。エリア別での開催や広範囲での開催を埋めるような取組が必要であると感じている。検討を重ねてより効果的な方法を模索していきたい。</p>																							

富田林商工会

事業名		まちゼミ Nとんだばやし事業						
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内においては、人口減少や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものも多く存在している。また、事業者においても大型店舗の出店や後継者不足など課題が山積しており個人商店等は窮地に立たされているのが現状である。そこで、大型店舗ではできない個人商店ならではの魅力を発信し、消費者への認知度を上げ、地域に足を運んでもらえる仕組み作りを促進することで、新規の顧客獲得、販路の拡大に繋げることができるような仕組み作りを目指す。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：平成31年2月1日(金)から28日(木)の1ヶ月間 開催場所：富田林市内 開催内容：店主が講師となって専門知識やコツ、お得な情報を教えてもらえる少人数制のゼミ。 参加企業数：16社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携						
		②広域連携						
	③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。						
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。						
①計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	16	支援実績率	80.0%	満足度	70
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	当社計画の支援企業数を下回ったが、参加していただいた企業からは満足したという回答を得た。初年度でもあり、事業を実施していく上で円滑に進められたとは言えないが、専門家を招き事業に対する理解力を高めることはできた。販路拡大、新規顧客の獲得など一定の成果は出たと考える。							
	指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合						
	数値目標	70%	実績数値	88%	目標達成度	125.7%		
成果の代表事例	SNSや新聞広告などで事業内容をPRしたことで、事業に参加いただいたのは勿論のこと、商品の購買につなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業初年度でもあり、事業者募集をするうえで趣旨を説明、理解してもらうことに時間がかかってしまった。また、専門家にきてもらい、短期間で事業内容を伝える方法を取ったため、事業者が理解できないまま事業を進めてしまったところもあった。次年度は早い段階から事業者に事業内容を説明できる機会を設け、順序だてて事業を進めていくことで参加事業者の増加につなげていきたい。						

富田林商工会

事業名		技術力向上、技術課題解決支援事業								
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内製造業者の多分野に渡る技術力を向上させること、ものづくり企業の技術課題解決のためのニーズに応えることで経営基盤を強化させ企業力の向上、底上げを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内製造事業者(特に富田林をにる工業団地)を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日：平成30年9月18日(火) 14時から15時 開催場所：富田林商工会館開催 内容：大阪産業技術研究所技術支援説明会 参加企業数：14社 ②開催日：平成30年11月27日(火) 10時から16時 開催場所：大阪産業技術研究所 和泉センター 開催内容：3DCADと3Dプリンタを用いた設計、試作研修 参加企業：2社 ③開催日：平成31年2月19日 開催場所：大阪産業技術研究所 和泉センター 参加企業：8社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携	担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。								
	②広域連携									
③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。									
④相談相乗										
事業の実績/目標達成度	①計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	14	支援実績率	70.0%	満足度	88	
	②計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	2	支援実績率	10.0%	満足度	100	
	③計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	8	支援実績率	53.3%	満足度	94	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①大阪産業技術研究所を知らない事業者に対して説明会を実施したことにより、施設利用について興味を持ってもらい後日問合せもあった。課題解決に繋がる提案はできたと考える。 ②オーダーメイド研修は地域企業の業態の問題もあり、目標数値を下回ってしまった。受講した企業からは高評価を得ている。 ③説明会を受けて、大阪産業技術研究所に興味を持った企業に施設を見学してもらえたことで、施設利用の向上に繋がると考える。								
		指標	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	64%	目標達成度	91.4%			
		指標	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
		指標	技術力の向上、課題解決に役立つと回答した企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	75%	目標達成度	107.1%			
成果の代表事例	今まで大阪産業技術研究所を利用したことの無い企業が、説明会受講し、見学会に参加したことで次年度自社の課題解決に向けて施設を利用してみたいという声があった。									
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	大阪産業技術研究所を知っている、利用したことがあるという企業が思っているより多く新しい施設や新しい利用の仕方などを提案し、利用促進に努めていく必要がある。企業によって、業種、業態、課題などが様々であり、それらを踏まえた上で、次年度実施のオーダーメイド研修会や施設見学会などを開催するようにしていきたい。施設紹介などより大阪産業技術研究所、大阪府と連携し事業を進めていきたい。								

富田林商工会

事業名		雇用管理労務対策セミナー							
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、違法な長時間労働など様々な労働問題が取り沙汰されており、雇用主、被雇用者及び求職者から強い関心が集まっている。また、管内事業所は人手不足に陥っているが労働環境面から求職者に敬遠されている。そのため、労働環境を改善し従業員の定着と求職者からの関心を集めるため、専門家による雇用管理セミナーを開催し企業の課題解決につなげ相談事業の相乗効果を図ります。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の従業員を雇用する企業（全業種） 小規模事業者並びに中小企業の人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	大阪総合労働事務所とセミナーの内容等について連携を図り、羽曳野労働基準協会と共同開催にて労務管理に関するセミナーを実施。 ①日時：7月20(金) 13:10～16:30 ②場所：富田林市市民会館1階大会議室 ③企業数：40社48名（申込50社59名） ④講師：羽曳野労働基準監督署職員3名							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	労務管理セミナーの広報掲載。大阪府総合労働事務所との連携により広くPRすることができた。						
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談事業相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	40	支援実績率	133.3%	満足度	95
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講することにより労働関連知識を学べることができ、雇用管理への意識改革を促すことができた。また、労働関連の知識は人材育成にも活かすことができ労使トラブル等の抑制にもつなげることができる。							
		指標	アンケートによる満足度						
		数値目標	80%	実績数値	95%	目標達成度	118.8%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、労働関連知識が向上、企業の労働環境の整備に繋がり、雇用を促進することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	労働関連の法令等は毎年変化しており、それらを紙媒体のみで、事業所に周知、理解してもらうことは難しい。セミナーを開催、直接事業者の説明することで理解度が上がり、法令順守に繋がると考える。今年度は1回開催であったが、複数開催を希望する声が多く、事業者のニーズに対応するため次年度は複数回で開催し、より事業周知と理解度を高めたい。							

富田林商工会

事業名		女性活躍推進事業																																											
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																											
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子化による人口の減少が著しい中で、中小企業においても、労働力不足による人材の確保は企業を維持していく上において重要課題の一つとなっている。また、女性の社会進出を推進する「女性活躍推進法」が制定されたものの活躍の場が広がったとはいいがたく企業においても女性が働きやすい環境整備の必要性を十分に理解し、人材確保に努める必要がある。そこで、「女性活躍推進法」を理解し、女性雇用の推進、働きやすい環境整備などを取り組める企業を育成、支援することを目的として事業を実施する。																																											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の小規模事業者や労務担当者を対象とする。																																											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○女性活躍推進法に関する普及、啓発を目的としたセミナーの開催 開催時期：7月から12月で1回開催 開催場所：富田林商工会 会議室 講師：未定 開催内容：①女性活躍推進法の概要②事例紹介③早期離職防止の取組④ワークライフバランスなど</p> <p>大阪府の施策紹介や、OSAKAしごとフィールドの事業説明をし会員登録を促します。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="8">担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="8">各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>								①府施策連携	担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。								②広域連携									③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。								④相談相乗								
	①府施策連携	担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。																																											
	②広域連携																																												
③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。																																												
④相談相乗																																													
①計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	15	支援実績率	75.0%	満足度	89																																					
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>参加事業者の理解度が高く、女性活躍推進法について理解を示していただいた。また、自社に持ち帰り、環境整備を考えるとというような積極的な環境改善を実施していただける事業所も数社あり女性が働きやすい環境整備に取り組んでいく意識をもっていただけたと感じる。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="8">女性が働きやすい環境整備に取組意欲が向上した割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>80%</td> <td>実績数値</td> <td>100%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="4">125.0%</td> </tr> </table>								指標	女性が働きやすい環境整備に取組意欲が向上した割合								数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%																						
指標	女性が働きやすい環境整備に取組意欲が向上した割合																																												
数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%																																								
成果の代表事例	セミナー内容を持ち帰り、社内会議にかけ積極的に取組んでいきたいという意欲を示していただいた事業所があった。																																												
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)																																								
					目標達成度																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	女性が活躍できる場の提供は、企業にとって取り組まなければいけない課題の一つである。すぐに環境改善は難しいかもしれないが、意識を持って取り組んでいくことがセミナーを通して重要だと認識した。企業が取り組みたいと思われたときに、スムーズに実行ができるような支援を引き続き実行していく必要がある。次年度はもう一度事業者ニーズを確認するため中止とする。																																											

富田林商工会

事業名		地域若者キャリア形成支援事業							
想定する実施期間		H24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	○少子高齢化で労働力人口の減少が予想される今、大阪産業の将来を担う若者と企業とを効果的に結びつけることが課題であり、その解決には地域レベルでその実情に合わせたキャリア形成支援と地域企業の人材確保、育成支援を充実させていくことが必要である。そこで、商工会が中心となり地域の資源を活かして産官学のネットワークを構築し、地域の若者を対象とし、地域の中小企業の人材確保に結びつくようなキャリア形成支援を促進する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○管内小規模事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	○地域事業者と若者(大学生)の交流会の実施 ①日時:5月24日、25日、28日 ②場所:近畿大学 ③企業数:6社 ④事業内容:地域の企業が近畿大学へ出向き、学生対して自社企業のPRや若年者への取り組みなどを話し、交流鶴する。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。						
②広域連携		各商工会において参加事業者を募集、連携したことで事業所の募集効率が上がり、事業を円滑に進めることができた。							
③市町村連携									
④相談相乗									
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	7	支援企業数(実績)	6	支援実績率	85.7%	満足度	90
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	○地域事業者と若者の交流会事業・・・企業が大学に出向き、企業マナーや自らの体験談などを学生に直接話す機会の場を提供できたことで、企業側は自社PRをすることができたことで、若年者雇用に対する意識の向上に繋げることができた。							
		指標	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合						
		数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%		
	成果の代表事例	若年者雇用について積極的に取り組んでこなかった企業が、交流会をきっかけに若年者雇用の必要性を理解し、具体的な採用について考えていただけるようになった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	○地域若者との交流会事業・・・企業が学生とコミュニケーションを図ることで、若年者の就職に対する考え方などを理解することができ、若年者雇用の促進に繋げることができたと考える。ただし、事業については大学側の要望によって成立する事業であることから、次年度は大学のカリキュラムの見直しがあり、実施しないことが決定した。							

富田林商工会

事業名		ITツール活用支援事業								
想定する実施期間		H23 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	〇事業を多角的に展開する上でITツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるソーシャルネットワークサービス等の講習会を実施することにより、企業内でのIT化の促進、ITスキルの向上や販路拡大、ITを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	〇南河内地域の中小企業、小規模事業者(特に製造事業者)を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①Aコース 開催日時:8月22日、29日、9月6日 午後2時～午後4時 開催場所:富田林商工会 開催内容:売上に繋がる投稿を作ってみよう 参加企業数:25社 ②Bコース 開催日時:9月12日、9月19日、26日 午後2時～午後4時 開催場所:河内長野市商工会 開催内容:SNSを使いこなしてリピーターを増やそう 参加企業数:31社 ③Cコース 開催日時:10月3日、10日、17日 午後2時～午後4時 開催場所:富田林商工会会議室 開催内容:売る為の商品ページを作るには? 参加企業数:32社 ④WEBマーケティングセミナー 開催日時:11月2日 午後1時～午後4時30分 開催場所:富田林市民会館会議室 開催内容:SNSを使った販売推進力セミナー 参加企業数:35社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
	②広域連携	各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、事業終了後の交流会(名刺交換会)を実施したことで地域を超えたネットワークづくりができ、自社販路の拡大、地域ネットワークの構築につながった。								
	③市町村連携									
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効果的な支援を行った。								
事業の実績/目標達成度	①計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	25	支援実績率	100.0%	満足度	88	
	②計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	31	支援実績率	124.0%	満足度	86	
	③計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	32	支援実績率	128.0%	満足度	87	
	④計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	35	支援実績率	100.0%	満足度	91	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①「売上に繋がる投稿を作ってみよう」ブログやHPを制作している事業所に対して見せる投稿のイメージ持ってもらうためのセミナー内容であったが、投稿内容をより意識的に製作、投稿することで情報発信力の強化、知識の向上を図ることができ新たな顧客アピールにつながった。								
		②「SNSを使いこなしてリピーターを増やそう」ITを活用した情報発信ツールの基本であるSNSの基本から活用までのセミナー内容で、受講後ツールの基礎知識、活用方法など地機器の向上に繋がった。								
		③「売る為の商品ページを作るには」HPやフェイスブックなどのコンテンツの考え方や見せ方など効果的なページ構成の作り方などを学ぶことで、新たな顧客にアピールすることができる。								
		④「SNSを使った販売推進力セミナー」①②③のセミナーを踏まえた上で、トータル的なSNSでの発信力、販売力の強化に繋がるセミナーを実施、SNSについての知識の向上、販								
		①指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	72%	目標達成度	102.9%			
		②指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
	数値目標	70%	実績数値	68%	目標達成度	97.1%				
	③指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合								
数値目標	70%	実績数値	62%	目標達成度	88.6%					
④指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合									
数値目標	70%	実績数値	71%	目標達成度	101.4%					
成果の代表事例	今までは持ってはいるが活用できていない、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを基本から見直し、コンテンツ構成を変え、投稿も毎日繰り返し実施することで、アクセス数が増加、いいねの数も増え、新規顧客を獲得することができ、売上の増加に繋げることができた。									
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度	
実施結果	現在のビジネスにおいて、ITを活用しているかどうかは非常に重要な要素の一つである。また、リアルタイムで変わっていくITの世界は常に新しいものを追い求めないと取り残されて行ってしまうことにもなる。事業者にとって常に最新であることが重要であり、必要とさせる最新のスキル学べる場を提供することを考えセミナーを実施していく必要がある。次年度はより事業者の要望に沿った形でセミナーを実施していきたい。									

富田林商工会

事業名		農商工連携（地産地消）事業								
想定する実施期間		H25 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	○富田林市内及び近隣市町村には他の地域から食材を購入している事業所が多数見受けられる。また、地域には良質、多種の農産物がたくさん存在しているものの、それらを目にする機会がほとんどないため、埋もれてしまっているのも現状である。そこで、地産品を地域で消費されるような取組が必要であり、「地産地消」を推進することから地域の活性化に繋げていきたい。また、地域で生産されたものをその地域で消費することで、単に地域で生産されたものを地域で消費するだけでなく、地域で生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者、加工事業者、流通事業者と消費者を結び付ける取組であり、これにより、消費者が、生産者等と『顔が見え、話ができる』関係で地域の農産物・食品を購入する機会を提供するとともに、地域の農業と関連産業の活性化を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○地域の農産物生産者、それらを使用する小規模事業者を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①日時：平成31年2月7日（木）午後2時～午後4時15分 場所：和泉市南部リゾソセンター 内容：事業者マッチング相談会（大阪府と共催で実施）泉州地域と合同開催 参加企業数：41社 ②平成30年11月18日（日）地産地消事業者出店イベントの開催 参加企業数：25社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
		②広域連携	各商工会で連携を図ることにより、多くの事業者に参加を呼びかけることができ、効果的な事業実施に繋げることができた。							
	③市町村連携	各市町村において、事業に関する広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。								
	④相談相乗									
事業の実績／目標達成度	①計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	55	支援企業数(実績)	41	支援実績率	74.5%	満足度	81	
	②計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	24	支援企業数(実績)	25	支援実績率	104.2%	満足度	91	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①マッチングイベント事業・・・南河内、泉州地域の農業者、加工業者等との合同マッチングイベントを開催したが、支援企業数が予定数よりも少なかったものの、多数の事業者が参加していただいたことで、それぞれの事業者間連携は図ることができた。広域地域からの参加になったため、地域にとらわれないネットワークの構築が図れた。 ②販路拡大イベント事業・・・地域の食材を活用した商品であることを、消費者にPRすることができる機会を提供することにより、商品の魅力を伝えることに繋がり、新規顧客の獲得や売上の増加に繋げることができた。								
		①指標	事業者間連携ができた企業割合							
		数値目標	60%	実績数値	80%	目標達成度	133.3%			
		②指標	PRしたことによる新規顧客の開拓、販路拡大ができた割合							
		数値目標	60%	実績数値	100%	目標達成度	166.7%			
	成果の代表事例	飲食業者は調理に使う食材を遠方より仕入れているが、今回マッチングに参加したことで、地域にも良い食材があることが分かった。地域で食材を仕入れることは事業者にとってコスト削減にもつながりまた、顔が見えるところからの仕入れをすることで安心安全のPRができることにもつながる。現在引き続き商談を進めているところである。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
	実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	前年度に引き続き、泉州地域と合同で商談会を実施したが、開催場所が泉州地域になったため、南河内からの参加事業数が減少してしまった。合同開催は、地域にない地場産品や事業者に見える機会が提供できるメリットがあるものの、開催場所が遠方になると参加しにくいというデメリットもある。事業内容をより魅力のあるものに変化させていかないと広域での事業の特色が出せないということから大幅な見直しが必要であるということも念頭に置き、大阪府農と緑の課と連携しながら引き続き事業を開催していきたい。							

富田林商工会

事業名		製品・商品・サービス魅力強化発信事業																																							
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内の事業所の製品、商品、サービスは個性的で、魅力的なものが多数存在しているが、製品、商品、サービスの本来持つ力、魅力等を伝えきれていないのが大部分である。見せ方ひとつで受取る側に与えるイメージやそのものの価値などが変わり、製品・商品・サービスに大きな付加価値を加えることができるということを知り、効果的なデザインの活用について学んでもらい、新たな販路の拡大、自社販売力の向上を目指す。そのことにより今後の開発意欲を高め、社内の意識改革、改善につなげる。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者を対象とする。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○セミナー 開催日時：平成30年11月9日(金) PM1:30~PM4:30 開催場所：富田林市市民会館開催内容：第1部セミナー「自社ブランド効果を狙うWEBマーケティングセミナー」第2部「先進的企業紹介」第3部ワークショップ「コンテンツの計画をしよう」第4部「大阪府施策の説明」 参加企業数17社 セミナー終了後個別相談会の開催 【ハンズオン型】 本格的にデザインに取り組みたい事業所に対し、大阪府産業デザインセンターへの相談やデザイナーとのマッチングまでトータルの支援を実施した。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪デザインセンターに講師及び個別相談会を依頼し、連携を図った。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7">事業を広域で実施したことにより、事業告知を含め効果の高い事業を実施することができた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪デザインセンターに講師及び個別相談会を依頼し、連携を図った。							②広域連携	事業を広域で実施したことにより、事業告知を含め効果の高い事業を実施することができた。							③市町村連携								④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。						
	①府施策連携	大阪デザインセンターに講師及び個別相談会を依頼し、連携を図った。																																							
	②広域連携	事業を広域で実施したことにより、事業告知を含め効果の高い事業を実施することができた。																																							
③市町村連携																																									
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。																																								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	18	支援企業数(実績)	17	支援実績率	94.4%	満足度	86																																	
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	3	支援企業数(実績)	3	支援実績率	100.0%	満足度	93																																	
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数の目標は概ね達成できた。満足度も高く、一定の成果は確認できる。また、指標目標も達成しており事業としては目的は達成したと考えられる。コンテンツマーケティングの重要性を理解し、意識が向上、活用したいという企業が多くみられた。																																							
	指標	コンテンツマーケティングの意識が向上した企業割合																																							
	数値目標	80%	実績数値	82%	目標達成度	102.5%																																			
	指標	コンテンツマーケティングの意識が向上した企業割合																																							
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%																																			
成果の代表事例	自社独自でWEBを活用していた事業所が、セミナーを受講したことで、コンテンツの見直し、収集、発信、ファンの獲得などマーケティングとして活用したことで、新規顧客の獲得に繋げることができた。																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度はWEBを中心としたマーケティングについてのセミナーを実施した。デジタル媒体を利用した販売促進活動は多くの事業者が取り入れている手法であるが、生かし切れていないという感じがした。セミナーで、WEBマーケティングを学習することで無駄のない販促に繋げることができたと感じる。次年度はコンテンツマーケティングの第2弾としてよりWEBを活用した販売促進が実施できるようなセミナーを実施、今年度のステップアップにつなげたい。																																							

富田林商工会

事業名		創業促進事業							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林商工会管内事業数は、販売力の低下、得意先の減少、景気の悪化、後継者不足など多種多様の事情により減少傾向にあるのが現状である。このような状況の中で、地域内の事業所数を増加させ、地域雇用の増加を図るなど地域活性が急務である。ついては、これから創業を考えておられる方に必要な情報を提供する機会を設けるとともに、地域事業者間のネットワークの構築など創業しやすい環境を整えることで企業家育成を促進することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に富田林市、羽曳野市を中心とした南河内エリアで、創業を希望、検討している方や創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①第1回創業セミナー 開催日：平成30年5月24日・5月31日・6月7日・6月14日 開催時間：19時から21時 参加者：13名</p> <p>②第2回創業セミナー（業種特化型） 開催日：平成30年7月14日・7月21日・7月28日・8月4日 開催時間：19時から21時 参加者：8名</p> <p>③第3回創業セミナー（女性特化型） 開催日：平成30年9月27日・10月4日・10月11日・10月18日 開催時間：19時から21時 参加者：25名</p> <p>④第4回創業セミナー 開催日：平成30年11月13日・11月20日・11月27日・12月4日 開催時間：19時から21時 参加者：13名</p> <p>⑤事業計画書作成セミナー 開催日：平成30年12月13日・12月18日 開催時間：19時から21時 参加者：11名</p> <p>⑥創業希望者に対するトータルの支援を行う。（ハンズオン支援）セミナー参加者70名のうち10名が創業し、12名が創業準備または創業に向けた個別支援を実施するなど創業に係るトータルの支援を実施。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府と連携し、創業を促進できる施策等を紹介、創業意欲の向上につなげた。</p> <p>②広域連携 広域連携することで、参加者の増加、創業に向けて近隣地域でのネットワークが構築できた。</p> <p>③市町村連携 広報掲載により参加申込みが増加、富田林市独自の創業者向け補助金等も連携したとにより申請件数が増えた。</p> <p>④相談相乗 カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</p>							
	事業の概要	①計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	13	支援実績率	108.3%	満足度
	②計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	8	支援実績率	66.7%	満足度	96
	③計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	25	支援実績率	208.3%	満足度	86
	④計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	13	支援実績率	108.3%	満足度	93
	⑤計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	12	支援企業数(実績)	11	支援実績率	91.7%	満足度	94
	⑥計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	4	支援企業数(実績)	4	支援実績率	100.0%	満足度	100
事業の宝	<p>①～⑤予定を上回る創業セミナー受講者があり、計画を上回る実績があった。満足度も非常に高く受講者からは一定以上の評価を得てると感じられる。創業意識の向上も目標数値を上回る結果となり事業成果はあった。また、各連携団体とも引き続き事業実施に対して協力をいただいたことで、スムーズな事業実施ができた。創業を考えている方に個別支援を実施することで、計画的な創業を行うことができる体制づくりができ、無理のない創業につなげることができた。セミナー参加者70名のうち10名が創業し、12名が創業準備または創業に向けた個別支援を実施するなど創業に係るトータルの支援を実施。</p> <p>⑥個別支援を実施し、創業融資から事業計画書の作成までトータルの支援を実施することで、スムーズな創業に結び付けることができた。</p>								

実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	指標	創業意識が向上した事業所割合				
		数値目標	70%	実績数値	77%	目標達成度	110.0%
		指標	創業意識が向上した事業所割合				
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%
		指標	創業意識が向上した事業所数				
		数値目標	70%	実績数値	80%	目標達成度	114.3%
		指標	創業意識が向上した事業所割合				
		数値目標	70%	実績数値	92%	目標達成度	131.4%
		指標	創業意識が向上した事業所割合				
		数値目標	70%	実績数値	73%	目標達成度	104.3%
		指標	創業意識が向上した事業所割合				
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%
	成果の代表事例	創業セミナーを受講したことがきっかけで、創業意識が高まり、その後専門的な個別支援を実施することで、具体的な創業計画を策定、無理のない創業に繋げることができた。現在は、順調に売上を伸ばしており、セミナー受講の成果が出ている。					
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年度に引き続き創業セミナーを実施、計画の支援企業数を上回ることができ、一定の成果はあったと考える。また、創業意欲、意識の向上を高めることができ、無理のない創業へとつなげることができたと思われる。受講者は1年間を通してセミナーを受講することが可能となり、多くの創業者の育成ができる仕組み作りができた。課題としては、年間を通してのセミナーの差別化を図る必要があり、より専門的な分野の講習も考えていきたい。					

富田林商工会

事業名		中小企業のIT/IoT導入支援事業								
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内事業所、特に製造業では事業経営において企業内でのデジタル化への対応は必要不可欠である。そこで、IoTや得られたデータの活用し、生産性の向上や生産工程の円滑化、 unnecessaryコストの削減などを図り、ひいてはスマートファクトリーの構築をも視野に入れながら、企業のIT/IoT導入を推進することを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者（特に製造事業者）を対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：平成30年10月30日（火）13時から16時 開催場所：富田林市市民会館 開催内容：第1部 「中小企業向けIoT活用入門セミナー」第2部「大阪府の施策紹介」 参加企業数：17社 セミナー終了後は個別相談会を実施、大阪府中小企業診断協会の個別診断に繋げる。 【ハンズオン型】 本格的にIoTに取組みたい事業所に、大阪府や、大阪府中小企業診断協会を紹介するとともにトータルの支援を実施した。								
		①府施策連携	講師及び個別相談会を依頼し、連携を図った。							
		②広域連携	事業を広域で実施したことにより、事業告知を含め効果の高い事業を実施することができた。							
③市町村連携		市町村と連携し、行政発行の広報等で周知することで連携を図った。								
④相談相乗										
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	17	支援実績率	85.0%	満足度	91	
	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3	支援企業数(実績)	2	支援実績率	66.7%	満足度	90	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	計画数より実績が下回ったものの満足度は高く事業内容についての評価は高いと考えられる。指標に対しての目標数値も実績では少し下回ったものの概ね達成できた。IoTの普及、啓発については一定の成果は達成できたと感じる。企業がIoTを理解するところから始め、他企業の取組事例を参考にし、企業内でIoTについて考えるという意識付けができるところまではもっていったのではと感じる。								
		指標	IoTに対して知識が向上した企業割合							
		数値目標	80%	実績数値	88%	目標達成度	110.0%			
		指標	IoTに対して知識が向上した企業割合							
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%				
	成果の代表事例	他社の事例を参考に、自社でも取り組んでいきたい等IoTに対しての知識が向上したことで、大阪府中小企業診断協会に診断を依頼する企業ができた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度で2回目の開催であるが、IoTの普及、啓発といった部分については成果が出ていると感じている。事業者の導入意識や意欲は高くなっているのが見て取れ、企業に持ち帰ってから促進できる体制を支援していけるように取り組んでいきたいと考える。次年度はより大阪府中小企業診断協会にIoT診断を依頼できるよう個別診断などを中心に支援していきたいと考える。								

富田林商工会

事業名		クラウドファンディング促進事業								
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	管内事業所の中には新商品の開発、資金調達やマーケティング、販売促進などに苦慮している事業所が多数見受けられる。そこで、それら諸課題を解決し得る新たな手法であるクラウドファンディングの普及、啓発を目的にクラウドファンディング活用セミナーを開催する。単なる資金調達だけでなく、スムーズかつスピーディーに企業(商品)のPRや顧客ニーズの把握などを可能にするクラウドファンディングの特色を紹介し、その活用を促進することで、事業の円滑化を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者また、創業予定者などを対象とする。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：平成30年11月13日・27日(火) 13時30分から16時30分 開催場所：富田林市市民会館 3階 農林会議室 開催内容：「クラウドファンディングの概要」「購入型クラウドファンディングプロジェクト成功のポイント」 参加企業数：15社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>								
	①府施策連携	担当課と調整しながら事業を実施したことにより、効果的な事業を実施することができた。								
	②広域連携	事業を広域で実施したことにより、事業告知を含め効果の高い事業を実施することができた。								
③市町村連携										
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。									
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	15	支援実績率	50.0%	満足度	81	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	支援企業数が計画を下回る実績数であり、指標も目標数値には届かず事業として成果を上げることが難しかった。満足度は81%あったものの、事業目標を達成できたとは言いがたい。参加した企業は、殆ど具体的なプランがあったわけではなく、「聞いてみたい」「興味があるから」などでの参加であったため、セミナー内容も事業の説明や、事例などでとどまってしまった。								
		指標	クラウドファンディングに対して活用を検討した企業割合							
		数値目標	60%	実績数値	73%	目標達成度	121.7%			
	成果の代表事例	セミナー参加者の中には具体的なプラン(構想中)を持ってこられた方があり、グループワークで、そのプランの実現性や問題点などを話し合った結果、より現実的なものへと変えることができた。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業実施前のリサーチ不足により、企業に対して有益なセミナーを提案することができなかった。セミナー内容も受講者の要望に合わせ、「クラウドファンディングとは」「現在募集されている取組紹介」などになり、事業の企画や実行には行けなかった。次年度は一度事業を中止し、より事業者ニーズにもとづいた実施を模索していきたい。								

富田林商工会

事業名		知財活動支援事業																							
想定する実施期間		29 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経済のグローバル化や科学技術の飛躍的發展に伴い、中小企業においても海外展開や技術革新が進んでいるが、知財の保護活用におけるトラブルも増加している。しかしながら、特許を保有する中小企業は全国平均で約0.3%程度とごく少数で、特許出願件数に占める中小企業の割合も約15%と知財活用に取り組んでいる中小企業は少ない。そのため、大阪府と連携をとりセミナーを開催し、知財活動の重要性を理解してもらいつつ知財活動支援をPRすることにより敷居を下げ企業の知財活動を促進する。																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内製造業を中心とした全業種の中小企業、小規模事業者																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>大阪府ものづくり支援課・技術支援グループと連携し知財活用セミナーを開催、受講者をはじめ積極的な取り組みを考えている企業をMOBIO知財サポートチームを繋ぎ、支援対象企業の課題解決に結びつける。また、INPIT近畿統括本部を活用するなど利用促進を図る。</p> <p>①知的財産権活用セミナー「これからの知的財産活用入門セミナー～知っておきたい商標権・企業の知財活動～」 日時：10月25日14:00～16:00 場所：富田林商工会 会議室 企業数：18社(申込 20社) 講師：(一社)大阪発明協会、(独)工業所有権情報・研修館</p> <p>②個別相談 セミナー後 2社(セミナー終了後、別室にて専門家による個別相談を実施) その他 3社(来会されての商標等について相談後、出願等専門的な相談を希望していた)</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府ものづくり支援課・技術支援と連携を図り、PR効果を高めることができた。また、専門家派遣などセミナー後のフォローを手厚く行うことができた。</p> <p>②広域連携 各商工会において参加事業所の募集、セミナーの広報。各商工会と連携したことで事業所のPR効果の拡大、効率よく事業を進めることができた。</p> <p>③市町村連携</p> <p>④相談相乗 カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</p>																							
	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	25	支援企業数(実績)	18	支援実績率	72.0%	満足度	83																
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>商標についての概要や情報漏洩の事例などを中心とした昨年より、商標の出願の流れや既存の商標の確認方法といった実務的・具体的な内容を中心としたため商標出願について検討する事業所が多く、昨年よりセミナー参加社数は減少したがアンケート満足度ではわずかに向上した。</p> <table border="1"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="7">知財活用についての取組みを推進する事業所の割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>83%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="3">118.6%</td> </tr> </table>								指標	知財活用についての取組みを推進する事業所の割合							数値目標	70%	実績数値	83%	目標達成度	118.6%		
	指標	知財活用についての取組みを推進する事業所の割合																							
数値目標	70%	実績数値	83%	目標達成度	118.6%																				
成果の代表事例	今までは情報漏洩などの危険を意識していなかった事業所が意識するようになった。																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																				

	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5	支援企業数(実績)	5	支援実績率	100.0%	満足度	80
事業の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	個別相談の件数は昨年の2社から増加し計画の5社に届いた。セミナー後以外の相談もあり商標出願を中心としたものではあるが知的財産活用について積極的に活用するようになった。							
	指標	知財活用についての取組みを推進する事業所の割合							
	数値目標	70%	実績数値	80%	目標達成度	114.3%			
	成果の代表事例	商標出願に向けた準備を進めるようになった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	実際に新商品開発を検討している事業所などにとっては商標が身近なもので知的財産についても意識しているが、それ以外の事業所においては優先順位が低いのが現状であるため、これらの事業所に意識してもらうのが課題である。課題解決の為に身近な商標出願を中心としたものに変更したが満足度は向上したものの参加社数は減少している。							